

いま、あらためて

エゾシカ問題を考える

【趣旨】

エゾシカによる農林業被害等が道東地域で社会問題となってきたのは1985年頃のことです。以後、エゾシカ問題は道東域から道央、道北、道西へと一気に広がり、近年では全道一円へと広まりました。直近の30年余のことです。この間、拡大一途のエゾシカ問題に対峙すべく北海道庁を初めとする多くの官民が連携・協働し、様々なエゾシカ対策が講じられてきました。

本シンポジウムでは、初めに、兵庫県でのシカ問題への先進的な取り組みを紹介いただき、続いて、エゾシカ問題へのこれまでの緒施策を総括し、今後の管理における課題等を提起していただくことを目的に企画しました。

【日時】 **2019年10月19日(土) 13:00～16:30**

【会場】 **北海道博物館・講堂** 札幌市厚別区厚別町小野幌 53-2

【参加費】 無料 (定員100名) ※事前に北海道博物館までお申し込みください(9月20日(金)より受付開始)。

【申込先】 行事申込専用電話 011-898-0500 (受付時間:開館日の9:30～17:00)

【主催】 一般社団法人エゾシカ協会・北海道博物館

【後援】 環境省北海道地方環境事務所・北海道森林管理局・「野生生物と社会」学会

【プログラム】

12:00 開場・受付

13:00 開会挨拶

13:05～14:05 **基調講演「兵庫県におけるニホンジカ管理の現状と管理体制」**

横山 真弓氏 兵庫県立大学・教授

14:05～15:25 講演 —エゾシカの管理—

1. 「エゾシカの保護管理～過去に学び・未来に向けて」

宇野 裕之氏 北海道立総合研究機構・研究主幹

2. 「エゾシカ管理のランドデザインとシカ捕獲認証制度」

伊吾田 宏正氏 酪農学園大学環境共生学類・准教授/エゾシカ協会理事

15:40～16:25 討論 —シカの管理 今後の課題

コメンテーター 富樫 崇氏 北海道庁生物多様性保全課主幹

横山 真弓氏、宇野 裕之氏(座長)、伊吾田 宏正氏

16:30 閉会挨拶

※北海道博物館企画テーマ展「エゾシカ」 www.hm.pref.hokkaido.lg.jp

会期:2019年10月12日(土)～12月15日(日) 開館時間:9:00～16:30 入場無料

